学校だより 第3号

令和７年６月３０日
新宿区立新宿西戸山中学校
校 長　賀屋　寛
副校長　渡部　裕也

「鍛錬」「参画」と体育的行事

副校長　渡部　裕也

本校の教育目標は「鍛錬」「参画」「飛躍」です。３年間をこの３つのサイクルとしたり、３学期を３つのサイクルとするなどして様々な教育活動を進めています。

運動会における「参画」

本校の運動会は、生徒が主体となり運動会に「参画」できるよう実施しております。今年度から午前中のみの運動会といたしましたが、生徒が主体となり進める運動会という部分は変えておりません。実行委員を中心に事前から事後まで、自分たちでよく考え行動し「参画」できていたと思います。運動会を通して、できたことや学んだことがその後の生活に活きてこそ成長につながっていると言えます。生徒の皆さんには落ち着いて生活すること、自ら進んで考えて行動することなど運動会前よりも成長しているか振り返ってほしいと思います。

保護者の皆様から運動会について様々なご意見をいただきました。ありがとうございました。学校といたしましては、様々な試行錯誤しながら持続可能な学校運営を進めていきたいと考えております。いただいたご意見を参考に、引き続き教育活動を進めてまいります。

東京都体力・運動能力、生活・運動習慣等調査をいかした「鍛錬」

５・６月は東京都で「東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」（以下、体力テスト）の調査時期とされています。本校においても、保健体育科の授業において体力テストの各種目を実施いたしました。体力テストの数値を高くすることそのものが目的ではなく、数値を高めることを通して体力向上を図ったり、数値化された結果を自分自身で見て自己の生活を振り返って生活にいかしたりすることが大切です。本校では、特に「立ち幅とび」「ハンドボール投げ」「反復横とび」「上体起こし」が全体的に低い傾向にあります。

運動能力を高めたり学習への集中力を維持させることなどは、健康な生活を送ることが基本となります。体力テストの質問紙調査では、「１日にどのくらい画面を見ているか」という調査があります。デジタルデバイスとの適切な付き合い方は現代を生きる我々にとっては身に付けなければならない大変重要な要素です。本校では６月２７日～７月３日の期間で、メディアコントロールと目の健康を意識した「一週間のセルフチェック」を行います。

学校において運動や健康に関する様々な取組を実施してまいりますが、家庭でも生徒が体力向上や望ましい生活習慣を身に付けることができるよう是非話題にしていただければと思います。

４月以降に新たに教員が着任しました。

期限付任用教員　保健体育科　第３学年副担任　硬式テニス部
産休代替教員　保健体育科　第１学年副担任　バスケットボール部

京都・奈良修学旅行　～最高の思い出（メモリアル）～　3年C組　生徒～

私たちは５月２７日から２９日の３日間、京都・奈良へ修学旅行に行きました。「今までの経験を活かして作る　最高の思い出（メモリアル）　私たちはいつも一つ」をスローガンに掲げ、充実した３日間を過ごしました。

初日は、長い移動を終えた後、奈良公園でたくさんの鹿と触れ合いました。新宿では考えられない光景が広がり、鹿を目の前に笑顔になる生徒の姿が見受けられました。２日目は、班ごとに京都の寺院や食べ物を堪能しました。班員と協力して行動することの難しさを肌で感じ、今後につながる良い経験となりました。最終日は、タクシーを使い、男女別の自由班で行動をしました。各々の興味ある地での体験を満喫できました。

この３日間では、班行動や宿舎内の活動で協力すべき場面が多くありました。修学旅行を通じて「仲間と協力することの大切さ」を実感しました。これらの貴重な経験を今後の生活に役立てていきたいです。

女神湖移動教室　～豊かな自然に触れ、仲間との絆を深めた3日間～

第１学年は、５月２１日（水）から２４日（金）２泊３日で女神湖移動教室に行ってきました。高原の空気が美味しく、都会では味わえない様々な体験をほぼ計画通り実施することができました。２日目の夜は体育館で句会が行われました。個人が俳句を作成し、部屋ごとに２６作品が選ばれ、その句に込められた気持ちを交えて発表しました。豊かな自然に触れ、思い思いに感じたことが表現されています。以下２６作品の中からさらに選ばれた優秀作品を紹介します。

優秀賞　「木々にある　鹿が残した　メッセージ」　　１年C組　生徒
優秀賞　「リュック背に　希望を詰めて　山の道」　　１年C組　生徒
優秀賞　「湿原や　耳をすませば　自然の音（ね）」　　１年C組　生徒
特別賞　「女神湖に　すずしい風が　おしよせる」　　１年B組　生徒

八島湿原ガイドウォーク

うちわづくり

ほうとうづくり

普通救命講習　～地域等の協力による体験活動の充実～

５月２８日（水）に第２学年生徒を対象に、新宿消防署、新宿消防団、東京防災救急協会の皆様のご協力を得て、普通救命講習を実施しました。日本では、年間約１３万人が心停止状態で救急車により搬送されています。このような人を救命するためには、早い１１９番通報、早い心肺蘇生と電気ショックが不可欠です。（引用：公益財団法人　東京防災救急協会　普通救命講習講習テキスト生徒編）生徒は講習で、心肺蘇生やＡＥＤなどの救命手当について理解し実施することができました。本日の講習を受けた生徒には、救命技能認定証が渡されました。

胸骨圧迫をしている様子